

一般の兼業（非常勤医師・非常勤講師以外）

太枠内のみ記入願います。

◎この欄はこちらから文書の送付時や、連絡を取りたいときに必要となります。

◎具体的に詳しく記入してください。
変則的な場合は「その他」の欄に詳しく記入してください。

別紙第1

兼業依頼状(兼業許可申請書・許可書)

大阪大学 総長 殿 貴学下記教職員に兼業を依頼したいので御同意くださるようお願いいたします。 法人名 代表者	文書番号： 第××××号 平成16年10月20日
	兼業先法人の所在地 〒 - 大阪市阪大区阪大町3-4-5 担当部署、担当者、連絡先電話番号 総務部企画課 - -
法人の種類： 財団法人 事業内容： 将来の科学技術の先端で活躍するような研究者を育成し、その研究等に資金の補助等を行い、日本の科学技術の進歩に寄与することを目的とする。 ◎定款、寄附行為の「目的」にあたる項目を記入してください。国、地方公共団体の場合は当該委員会規程等の目的等に当たる部分を記入してください。国に属する審議会の場合はこの欄の記入は不要です。	勤務態様 毎 曜日 時 分 ~ 時 分 (年・月 期間内 週)につき 6 回 その他 () 1回あたり 2 時間
兼業従事者 氏名： 阪大太郎 職名： 教授 所属： 大学院 学研究科	兼業予定期間 兼業許可日 平成 年 月 日 から 平成17年3月31日 まで
役職名： 委員会専門委員 職務内容： 当法人では本年度「 事業」を実施しているが、本事業を遂行するために学識経験者より助言指導いただくものである。 ◎職務内容を具体的に記入してください。この欄の業務以外に従事することはできません。 治験に携わる場合は、必ずその旨記入してください。	報酬 無 (旅費のみの場合も含む) 有 1 (月) 日・回・時間)につき 20,000円 その他 () ◎旅費のみの場合は報酬無の扱いになります。報酬額については、明確に記入してください。
本兼業について開示請求があった場合、開示することによって法人の権利、利益を害するおそれがあるなどの理由により、開示して差し支えのあるものがあれば、右欄に表示してください。ただし、大阪大学の情報公開の取扱い基準では、兼業は原則開示する方針としておりますので、表示があっても必ず不開示となるものではないことを、あらかじめご了解願います。また、開示請求があった場合、改めて不開示理由についてご照会することがありますので、あらかじめご承知おきください。	本依頼状に対する大阪大学総長(又は所属長)の回答書(許可書)必要の有無 有 無
	法人名(代表者名・事業内容を含む) 役職名 職務内容

◎遡及して許可をすることはできません。具体的な日付を入れてください。
開始日については、兼業許可日からでよければ「兼業許可日」にチェックを入れてください。

◎当該兼業のご依頼に対し本学の回答文書の必要の有無をお知らせ願います。
『有』の場合は、宛名を記載した返信用封筒を同封していただけますようご協力願います。